

第5学年梅組 理科「てこのはたらき」略案

指導者 佐藤 睦子

1. 日時 12月6日(火)(13:30~14:15)

2. ねらい ○ てこやてんびんのきまりを利用した道具を考え、工夫してつくることができる。

3. 本時の実際

時 間	学 習 活 動 と 児 童 の 動 き	教 師 の 支 援 及 び 評 価	セ ン タ ー の 先 生 の 支 援	備 考
13:30	1. 課題をつかむ。 ○ てこやてんびんを利用した自分だけの「はかり」をつくる。	材料の準備や支援がしやすいように、前もって子どもたちに設計図をかかせておく。 不足している物を自由に使えるように、部品コーナーを設置する。		プレールーム
13:35	2. はかりをつくって身の回りの物を量りとる。	困ったとき、自分なりにできたと思ったとき、センターの先生に見てもらうことを確認する。 時間を持て余さないよう、はかりが完成したら身の回りの物の重さを量ってもいいことも伝えておく。 なかなか作業がはかどらない子どもが多かったり、広めたい工夫が見られたりしたときには、紹介する時間を設ける。	子どもたちのはかりを見て賞賛したりアドバイスしたりする。	
14:05	3. 振り返りをする。	工夫しながらてこやてんびんを利用した道具をつくることのできているか。 子どもたちの意欲を継続するために、友達の工夫にふれた振り返りを取り上げるようにする。	子どもたちの様子やはかりについての感想を述べる。また、他の作品の紹介もする。	